

生ごみの“ぼかしあえ”の活用
 ⇒土をミネラルいっぱいの発酵型にしよう

ぼかしあえをプランターで利用する方法

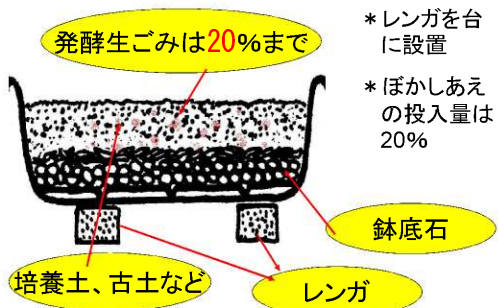
プランターの利用

- ① プランターの底に網目の黒い底敷きを置く
- ② その上に網状の袋に入れた鉢底石を置く
 ⇒水はけをよくするため



プランターの底に排水口が一つしかない場合、底面全体にキリで穴を沢山開けると、排水が容易になる

③ ぼかしあえを入れ、土とよく混ぜる



④ 密閉バケツ(11ℓ)1杯のぼかしあえを、4つのプランターに配分した様子



プランターのサイズ 23×63×20cm

⑤ 上から乾いた土をかぶせる 空気が必要なので、押さえつけない



⑥ 新聞又は雑草をかぶせる⇒雨にあてない



新聞紙をかぶせる

雑草をかぶせる



プラ袋で覆い、紐でしばる



波板を乗せ、レンガを置く

⑦ 発熱するのでよくかきまぜる

- ①夏は1~2日、冬は3~4日位で発熱する。

ポイント

- ②3日目、1週間目に全体をよく混ぜる⇒大変でも頑張っ
てね！土の中を腐敗型でなく、発酵型にするための大切な作業。濡れた新聞紙は取替えよう
- ③約2ヵ月程度で生ごみは分解する。生ごみ臭がなければ貝化石(有機石灰)を一握り入れ、混ぜたのち、1週間程度放置。さあ！苗や種を植えましょう！

⑧ シロカビは主として糸状菌 心配ない！



⑨ 雑草の活用をぜひ



- * 乾燥の防止
- * ミネラルの補給
- * 通気がよく、腐敗を防ぐ
- * 酸性雨の害を緩和する

⑩ プランターで野菜栽培



たかづめの根もとには
雑草がたっぷり

なすの根もとにワラ
や雑草をたっぷり